

日本建築学会 四委員会主催

農村計画委員会・都市計画委員会・建築計画委員会・建築社会システム委員会

第12回**住****宅****系**研究報告会 会場：建築会館

研究報告論文募集

応募登録期間2017年4月21日(金)～5月9日(火)18時
～5月31日(水)18時まで延長しました。

論文提出締切 2017年6月19日(月)～6月30日(金)18時

研究報告会 2017年12月8日(金)・12月9日(土)

住宅・住宅系まちづくりのテーマは、建築社会システム、建築計画、都市計画、農村計画などで取り上げられ、大会では毎年多くの論文が発表されています。住宅・住宅系まちづくり分野の研究の水準向上を図るため、日本建築学会のこれらの分野が連携し、昨年12月に「第11回住宅系研究報告会」が実施され、21編の意欲的な論文の発表と活発な討論、パネルディスカッションが行われました。

引き続き横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流(分野相互の研究内容や方法の理解を含む)を続けるため、本年12月に第12回目の住宅系研究報告会を開催します。報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを意図しています。このため、特に分野横断的な視点からの論文を歓迎いたします。

<応募要領>

●申込条件—住宅・住宅系まちづくりに関する、以下のいずれかの報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

なお、著者(発表者および連名者)は本会個人会員(学生会員可)に限る。発表者1人につき1編の応募とし、複数の論文の発表者になることはできない。発表者が異なる場合でも共通主題と一連番号をタイトルに含む(連番)論文の同時投稿は認めない。和文を原則とするが、英文での投稿も受け付ける。原則として未発表のものに限るが、大会学術講演会等で口頭発表したものを発展させたものや、何編かをまとめて一連の研究としたもので、まとまりのあるものは可とする。また、発表者は報告会に出席し、発表を行わなければならない。その場合の言語は日本語とする。

●応募登録—本報告会での発表に応募する方は、2017年4月21日(金)～5月9日(火) 5月31日(水)18:00の間に、下記の住宅系研究報告会ホームページの「第12回住宅系研究報告会登録申込フォーム」に必要事項を記入の上、応募登録をすること。

ホームページアドレス: <http://news-sv.ajj.or.jp/jyutakukei/>

●研究報告論文の提出と発表の採否—上記ホームページにある「各種フォーマット」「執筆要領」を参照のうえ、「応募論文」を6月19日(月)～6月30日(金)18:00までに提出すること。

提出された「研究報告論文」は論文内容の審査を行い、採用・意見付き再提出・条件付き再提出・不採用の決定をし、本人に通知する。

再提出の場合は、所定の期間内で指摘された内容を修正し、再提出された「修正論文」を再審査のうえで採用または不採用を決定し、上記の登録申込フォームに記載のメールアドレスに、E-Mailにて通知する。英文論文の場合でも、通知書は日本語で記述する。なお、住宅系研究報告に該当しないと判断された論文は、辞退していただく場合がある。

●原稿作成要領—「応募論文」は、所定の執筆要領に基づいて執筆すること。執筆はパソコンやワープロ等により作成し、PDFファイルとした上でウェブサイトからアップロードする。1題当たり6頁以上10頁以内とし、偶数頁にまとめる。

●投稿・掲載料—採用が認められた場合、下記の投稿・掲載料を納入すること。代金は別途送付の請求書により振り込むこと。6頁17,000円、8頁24,000円、10頁32,000円
発表者には「研究報告会論文集」1冊を事前郵送します。

●著作権—掲載された「応募論文」の著作権は著者が有するものとし、本学会は編集出版権を有する。また複写権については、本学会に委託するものとする。

●問合せ先—E-Mail アドレス: jyutakukei@ajj.or.jp
宛先名称: 住宅系研究報告会